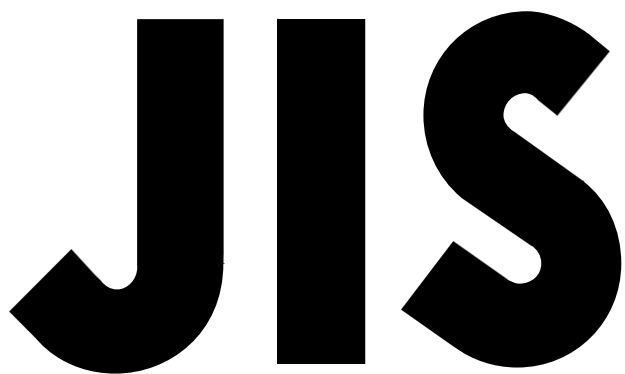




福祉用具－据置形手すり

JIS T 9281 : 2016

平成 28 年 5 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 高齢者・障害者支援専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	鎌 田 実	東京大学
(委員)	荒 木 薫	特定非営利活動法人日本障害者協議会
	井 上 剛 伸	国立障害者リハビリテーションセンター研究所
	大 石 奈津子	一般財団法人日本消費者協会
	長 田 信 一	公益財団法人テクノエイド協会
	倉 片 憲 治	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	鷺 坂 和 美	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	中 川 昭 夫	神戸学院大学
	二 瓶 美 里	東京大学
	根 村 玲 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	畠 中 順 子	一般社団法人人間生活工学研究センター
	平 野 澄 子	主婦連合会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	古 屋 一	公益社団法人日本包装技術協会
	三 浦 晃 史	公益社団法人日本介護福祉士会
	森 川 美 和	公益財団法人共用品推進機構
	山 際 淳	日本生活協同組合連合会
	山 澤 貴	日本福祉用具・生活支援用具協会
	山 本 澄 子	国際医療福祉大学
	渡 邊 慎 一	横浜市総合リハビリテーションセンター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 28.5.20

官 報 公 示：平成 28.5.20

原案作成協力者：日本福祉用具・生活支援用具協会

(〒105-0002 東京都港区愛宕 1-6-7 愛宕山弁護士ビル TEL 03-3437-2623)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：高齢者・障害者支援専門委員会 (委員長 鎌田 実)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail: jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	2
5 リスクマネジメントによる設計	4
6 外観及び性能	4
6.1 外観	4
6.2 性能	4
7 試験方法	5
7.1 試験条件	5
7.2 試験用具	5
7.3 水平方向の強度試験	6
7.4 水平方向の耐久性試験	6
7.5 水平方向の衝撃性試験	6
7.6 垂直下向き of 強度試験	7
7.7 垂直下向き of 耐久性試験	7
7.8 垂直上向き of 強度試験	7
7.9 耐熱性試験	8
7.10 挟込み回避確認試験	8
8 検査方法	9
9 表示	9
10 取扱説明書	9
附属書 A (参考) 設計における配慮事項	11
解 説	13

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づき、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

福祉用具—据置形手すり

Assistive products—Free-standing handrails

1 適用範囲

この規格は、主にか（臥）位・座位からの立ち・座り、移乗・移動及び立位保持、段差における立位での昇降動作、立位での水平方向への移動動作、排せつ（泄）姿勢への座り動作、並びに排せつ姿勢からの立ち上がり動作を支援する据置形手すり（以下、手すりという。）について規定する。ただし、設置の際にねじ又は接着剤で固定する手すり、留め具を使用して固定する手すり及び浴室内に設置する手すりを除く。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS T 0102 福祉関連機器用語〔支援機器部門〕

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS T 0102** によるほか、次による。

3.1

据置形（free-standing type）

床の上に、固定具又は留め具を使わずに自重だけで据え置く形式。

3.2

ハザード（hazard）

人体に危害を及ぼすおそれのある潜在的な源。

3.3

リスク（risk）

危害の生じる危険性。理論的には危害の発生確率及びその危害の程度の組合せ。

3.4

リスクマネジメント（risk management）

リスクを識別し、最小限に抑え又は除去するなど、リスクに対応し、管理する行為。

3.5

性能（performance）

製品がもつ各種能力の特性を程度で表したもの。

3.6

使用上支障のある異常（abnormality that create problem for intended use）